



年金者しんぶん

第421号 2025年1月15日(水)

(通巻第620号)

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
発行人 杉澤 隆宜 月刊1部100円(組合費を含む)
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

2024.11 組合員数99,803人 連絡先 ☎03 (5978) 2751 FAX03 (5978) 2777 honbu@nenkinsha-u.org ホームページ / 年金者組合で検索



「今春の年金は必ず物価高を上回る額に」と厚労事務次官に要請する年金者組合。写真左から紹介議員の共産党田村貴昭衆議院議員、廣岡元穂副委員長、杉澤隆宜委員長、伊原和人事務次官、中川滋子副委員長、木田保男書記長、飯野豊秋副委員長（昨年12月19日 事務次官室で）

新しい年の初めに

新しい年が明けました
戦後80年の年です
この80年、私たちが生きてきた年つきです
戦後の時代を生きぬき、働きつづけてきました
仲間と力をくばり、世の中の悪いことは悪いといい
仲間と肩を組んで
今日までを生きぬきました

昨年秋、国会の景色が変わりました
かえたのは私たちです
戦争への道か
平和への道か
国民の声がとどく国会になりました

世界はまだ戦争はやまず
民主主義が危機に瀕しています
「人類が核兵器で自滅することのないように」と訴える田中熙巳さんの渾身の演説
核なき世界をつくり始めるのは日本の役目です

年金者組合は新たな年に
全国の仲間呼びかけます
もっと分厚く、もっと長大に
まご子の時代が平和へと続くよう
もっと輪を広げましょう

国会をさらなる景色でうずめるように
新たな年に新たな決意で
手を取り合いましょう

(中川 滋子)

ことしもよろしくお祈いします

- | | |
|---------|-------|
| 中央執行委員長 | 杉澤 隆宜 |
| 副委員長 | 宇佐美忠利 |
| 副委員長 | 岩崎 勇 |
| 副委員長 | 渡辺 義巳 |
| 副委員長 | 飯野 豊秋 |
| 副委員長 | 中川 滋子 |
| 副委員長 | 村田 泰子 |
| 副委員長 | 廣岡 元穂 |
| 副委員長 | 千野 律子 |
| 副委員長 | 山本 和夫 |
| 副委員長 | 宇内 敏哲 |
| 書記長 | 木田 保男 |
| 書記次長 | 田中 論 |
| 書記次長 | 富井 京子 |
| 書記次長 | 野崎 益男 |
| 会計長 | 海野 勉 |

風雪

2024年の流行語大賞は「ふて」
「不適切」にも程がある「でした。しかし、「はて？(真に翼)」と思ったのは私ばかりではないでしょう▼ただ確かに「ふてほど」の年だったかもしれませぬ。都知事選挙、アメリカの大統領選挙、裏金問題・総選挙、兵庫県知事の再選、と「ふてほど」のオンパレードでした▼共通項は「SNS」です。フェイク偽りの情報が、真実をゆがめ選挙結果まで捻じ曲げる。とすれば民主主義の危機です▼フェイクは普通のニュースより格段とスピードが速く、しかもより広範に伝わるという点。ヨーロッパでは、極右がSNSでフェイクやヘイトを大量に流し、選挙でも躍進しています。嘘も百回言えば真実となる、はナチス宣伝相ゲッベルスの言葉。ナチの再来を許してはなりません▼「年寄り」はSNSは「どうも」、などと言っだられませんか。2025年を年金者組合のSNS元年に。(宇)

ノーモアフクシマ

「おれたちの伝承館」

南相馬にある「おれたちの伝承館」は福島原発事故で空き家となっていた町工場の倉庫を改造したものです。館内の天井を見上げると黄色と青の一面に馬や魚が鮮やかに描かれた「天井画」が飾られています。絵の大きさは縦7メートル、横5メートルもあり館内を圧しています(写真「命 煌めき」作者 山内若菜さん)。原発被災者の賠償裁判が続く中、原発の再稼働です。あと3カ月で14年になるフクシマから私たちは訴え続けます。「故郷を返せ ノーモア原発」「ノーモアヒバクシャ」と。(写真撮影は福島支部の渡部幸一さん。館長の中筋純さんの許可を得て撮影と「年金者しんぶん」掲載となりました)



福島県本部委員長 佐藤征司

10万に少し足りなかった秋の月間
24秋の月間の10、11月の2ヶ月間で1525人加入し、1211人が退会、実増314人、9万9803人の組合員となり、和歌山と岡山両県本部が過去最高の組合員数となりました。京都府本部は5000人台を回復しました。

みんなのひろば

北朝鮮に拉致された田めぐみさんのご両親、父親はじくなられ、母親早紀江さんが47年間も娘の消息を待っている。日本政府はいつの日か、日本政府はいつの日か、何もしないでいるのか。議員は背広に青リボンをつけたまま行動していない。時間が無い事を考えよう。

拉致、時間がない
日本政府何をしている
石川県 藤原 武雄 81

「積立金で基礎年金の底上げ、年金の底上げを」との「年金者しんぶん」とでも参考になりました。国家公務員として郵便配達しながら非正規雇員を勧奨しました。40年間人事差別を受け、生涯平均の主任で終えました。

山手 敏夫 82
選挙で自民・公明が過半数割れの大敗。憲法九条改憲勢力も弱議できない3分の2以下になったことがなによりもうれい。国民投票にかけるべきかどうか不安でいっぱいでした。SNSなどにたまにされない国民多数にならうと努力

二〇二五年 前進座公演
全日本年金者組合合同観劇会
山田洋次 監督・脚本
『裏長屋騒動記』
池袋 サンシャイン劇場
6月2日(月) 神奈川・群馬・栃木・茨城・山梨・長野・新潟
6月5日(木) 埼玉
6月6日(金) 東京・千葉・静岡・秋田・山形

低年金に重い懸念、貧困削減に努力を勧告

中央執行委員 渡辺 博子

女性差別撤廃条約を批准している締約国は定期的に国連に報告を行ない、審査を受けることになっています。今回、対象国は、日本、カナダ、チリ、キューバ、ベナンです。

CEDAWは2020年3月に日本政府に25項目の事前質問を行ない、21年9月に政府の回答が出され、多くの

NGOとともに年金者組合も高齢女性の貧困、低年金について報告書を出しました。

総括所見では日本女性の労働や低年金について次のような懸念が示されました。

- ①女性が低年金の事務職、パート、低賃金労働に集中し、その結果年金の受給に影響を及ぼしている。
- ②同一価値労働同一賃金の原則を効果的に実施し、男女間の賃金格差を縮小する。
- ③貧困削減の努力を強化し、ひとり親世帯、寡婦、高齢女性のニーズに特に注意を払うこと。これらの勧告を本意に実施すべき。



日本婦人団体連合会のみなさんと一緒に「国連ヨーロッパ本部」背景に記念写真。前列、右から賀川純子さん、渡辺博子さん

「国連女性差別撤廃委員会」(CEDAW) は昨年10月17日、スイス・ジュネーブで第9回「日本政府定期報告」に対する「審議」を行ないました。年金者組合はこの「審議」の傍聴に渡辺博子(愛知)、賀川純子(兵庫)両中央執行委員を派遣。2人は男女間の年金格差・賃金格差の是正と最低保障年金制度の実現を求め、委員にヒアスを配るなど活発なロビー活動を行ないました。出された「総括所見」の要点、審査の様態など渡辺中執、賀川中執が報告します。

日本女性の年金生活の実態や最低保障年金制度の要求を書いた英文のチラシを委員の皆さんに手渡しました。(右:渡辺博子さんと賀川純子さん)

国連女性差別撤廃委員会 傍聴記

世界は女性力で動いている 実感

国連女性差別撤廃委員会 (CEDAW) とは 1979年12月18日に国連で採択された「女性差別撤廃条約」の実施を監視し女性の権利を保護するための具体的な措置を推進する組織。締約国は189カ国。日本は1985年に批准しました。締約国は国民に「周知普及」の義務があり、8年周期で定期的に委員会に報告して審査を受けます。



日本政府 CEDAW 委員 (JNCC 提供)

「総括所見」を受け、日本政府に対して勧告の完全実施と普及を直ちに言うよう強く求める運動を行ないました。

雇用、女性の経済的分野の勧告は渡辺さんの報告(参照)私からは「女性差別撤廃条約選択議定書」について報告します。115カ国が批准しています。

選択議定書は、個人通報制度があり、国内で救済されなかった差別を直接、国連に通報できます。日本が批准すれば、司法の判断や法改正に大きな力を発揮します。

選択議定書を批准しているモルドバ共和国では、重度障害を持つ子どもの介護のために雇っていた女性が、老

ジュネーブで学び 国内で頑張らなげや 中央執行委員 賀川 純子

ステージ1 スタンディングに大興奮
非公式NGO会議では、日本からJNCC、日弁連が発言。時間厳守。容赦なくストップされる。会場いっぱい。座れない人も。外国グループは発言が始まるとスタンディングや拍手でエール。私たち日本チームもそれを見

聞いたスタンディング & 大拍手をおくった。エネルギーあふれた女性たちの発言に「世界は女性力で動いている」と大興奮の一日でした。

ステージ2 手振り身振りのロビー活動
英訳したチラシを、渡辺さんと二人で手分けして配布。しゃべれるのは、フランス語の挨拶と英語の「日本の年金者組合です」「年金裁判を闘っています」「最低保障年金制度を」とのみ。あとは、笑顔と日本語と握手。どの委員も笑顔で受け取って

くれる。「私も年金生活です」と日本語で返事が返ってきた委員もいて感激。8月にCEDAWからの事前質問に対して年金者組合から報告書を出しているのでもう一度読んでくれたらいいなと。ステージ3 鋭く切り込む質問、審査
各委員からの具体的な質問が次々と出されました。現状を繰り返すだけの政府を繰り返すだけの政府、各省庁の責任に、議長から「質問に対して具体的に答えよ」といふと何度も指摘を受けて

いました。*星位継承問題では、日本の問題だと主張する政府に対して、「王族、皇室も差別に関わるあらゆる問題はこの条約の対象です」と毅然とした議長態度に、会場から拍手が起こりました。この日は、同時通訳がありホッとしました。

♪終わりに
8年後は、次の世代にバトンタッチです。世界とつながり、国内でガンバる女性部の運動に希望が広がりました。

運動に展望開く 撤廃委員会「勧告」
国連部長・副委員長 廣岡 元雄

年金者組合は今回の「総括所見」を受け、日本政府に対して勧告の完全実施と普及を直ちに言うよう強く求める運動を行ないました。

雇用、女性の経済的分野の勧告は渡辺さんの報告(参照)私からは「女性差別撤廃条約選択議定書」について報告します。115カ国が批准しています。

選択議定書を批准しているモルドバ共和国では、重度障害を持つ子どもの介護のために雇っていた女性が、老



絶好のチャンスが生まれています。全国の347の地方議会(20%10月7日現在)で国に意見書を出しています。年金減額訴訟は最高裁で不当判決が続いていますが、選択議定書の批准が実現できれば、2.5%の年金減額により不利益を被ったとして、条約違反だと国連女性差別撤廃委員会に通報することが出来ます。今回の女性差別撤廃委員会の勧告は、今後の運動に大きな原動力を与えてくれました。

個人商店と教会せんぽの買物は私の理想
福岡県 津田 明子 81
福岡会津若松支部の取り組み、個人商店で買い物をする、私の理想的な考え、教会のせんぽから買ってくる範囲で食物を買って食べる地産地消の精神です。子育てにも優しい個人商店の店主のつながり、買い物するだけでなくこのつながりです。



東京都 加藤 茂

年金者文芸 2024年の優秀作

短歌

碓田のぼる 選

大瀑布放つダム湖に沈みある四季折々の棚田の景色 (10月)

北海道札幌市 古川 澄子77

〈評〉壮絶な巨大なダム湖と、その底に沈んだ、ふるりの嘆きが、印象深く歌われている。作者は二つの異なる世界を歌の中に描き出している。一つは大瀑布のダム湖の底に沈んだ懐かしい棚田の光景であり、もう一つは現実の大瀑布である。過去と現在が相剋し合っている。

俳句

丸山美沙夫 選

病の芽一つ減らして年新 (2月)

千葉県千葉市 武田 文治80

〈評〉齢を重ねることに持病が増えたり、新たな健康障害が起きるのは仕方がない。それに立ち向かって日常の健康管理に努力することは大切なことである。この句にはその成果をしっかりと詠み取られていることに感銘する。生への前向きな逞しさ「年新たな」に励まされる。

包丁のまっすぐな音冬の朝 (2月)

兵庫県南あわじ市 前畠 一博67

〈評〉厨から野菜を刻む包丁の音だろう。

川柳

川端 一步 選

パピリオンやめて仮設を建てるべき (5月)

大阪府和泉市 本山 高行86

〈評〉作者と同じ意見の人が多く思います。建設費用の追加、爆発事故、大規模災害時の対策等々問題が多くあり過ぎです。残念なのは政府が住民の声を聞かないで応援していることです。中止を含め多くの要求や意見を出して、お金は有効に。

軍拡の費用あるなら民肥やせ (8月)

長野県長野市 三浦 敦男66

〈評〉去年の国会補正予算は過去最大の軍事費は80268億円。5年間で43兆円の軍事費は80268億円。5年間で43兆円の軍事費は80268億円。

妻の行く病院三つその一つ私も患者となりつきあう (6月)

宮崎県日向市 黒木 直行81

〈評〉切実な生活詠である。妻も作者も病者なのである。その病状は表現されていないが、妻の通う病院は三つであり、その一つに作者も病者として通っている。その共通性は、この作品にとって単なる共通性ではなく、妻への愛情表現となっている。春色のスクーフ首に颯爽と君待つ喫茶店までの足早 (5月)

兵庫県朝来市 今村 明美81

〈評〉この作品にただよっているのは、まさしく相聞歌の思いであろう。作者は、この作品の中で若やいでいる。一首を流れる表現の省略を効かせて詠む「まっすぐな音」に注目したい。家族らの食を預かるのは大方は妻や女性たちであろう。そのひたむきな家族たちの役割を汲み取っているのだ。口には出さないが感謝の思いがこもる。年玉のわづかを能登へ送りけり (2月)

埼玉県さいたま市 関根 道豊74

〈評〉正月早々に起きた能登半島の大地震である。昨年この大惨事を詠んだ作品も多く見られたがその中からこの句を揚げた。復興も大変な状況が続いている。子供たちも頂いたお年玉から出した支援力に感動させられた作に。残生に不戦を託し花の墓塵 (7月)

大阪府堺市 金森 薫96

〈評〉長年苦楽を共にして、いのちと暮ら

大阪府堺市 金森 薫96

事費はそのまま。国民は物価高と低年金で苦しんでいます。能登の被災者も援助を待っています。「民肥やせ」の声を今年の参院選に向けて出していく今がチャンス。年金者生きてるだけで金メダル (9月)

大阪府堺市 大和 肇二80

〈評〉作者の思いは分かりませんが、この作品を繰り返して読んでふと思いついたのが憲法の前文。とりわけその前の部分「再び戦争の惨禍が起こることのないように」して来たのは、われわれ高齢の年金者ではないか。みんな取った金メダルだ万歳。メダルより死闘の後の讀え合い (9月)

山口県下松市 下村由美子72

〈評〉とても良い見附け五重丸です。闘いが終わればノーサイド。私たちは、この場

リズムは軽快である。自らのことを「颯爽」といっているのは、てらいもせず面白い自己表現である。

目玉焼きの目玉とろりと崩れつつ今朝の喉をくすべりて過ぐ (11月)

兵庫県朝来市 今村 明美81

〈評〉この作品の上の句は、読者に非日常的なシュールな印象を与える。作者が玉子焼きの「目玉」を中心に「とろり」と崩れる感覚を「くすべり」と自己表現しているのも個性적이다である。知らぬ間に蜘蛛の巣張りり石臼のつき手返し手無き年の暮れ (2月)

東京都昭島市 金丸 和彦72

〈評〉一首全体に、老の嘆きがひびいてい

兵庫県神戸市 岡田 勝代86

し平和運動に取り組んできた。年金者組合の仲間らの楽しい花見の席だ。ところが今また戦争が起こり、内外情勢は核軍拡競争と日本が戦争できる国づくりが危険な方向に進み出している。「残生に不戦を」誓い合う仲間らの氣勢が上がる座の点火だ。日脚伸ぶ健やかであれ戦火の子 (4月)

兵庫県神戸市 岡田 勝代86

〈評〉ロシアのウクライナ侵略やイスラエルのガザ地区爆撃など戦争による子供たちの犠牲の映像は無惨極まりない。どんな戦争も大きな犠牲となるのは弱者たちである。「日脚伸ぶ」の季語にこめて、一日も早く停戦を願う心情が迫る。大樺大地の春を噴き上げり (5月)

東京都足立区 金指 孝造75

面を映画やテレビでいや実際に現場で観て感動しました。憎しみ合う戦争が世界で起きています。一日も早く戦争を終えて敵味方向土が抱き合う姿を見たいものです。地球丸狂った船頭ばかり増え (10月)

山梨県北杜市 望月 淳一79

〈評〉死の商人をバックにした国の長があちこちにいます。「狂った船頭」が戦争を起し、多数の死者を出し、数え切れない難民を生んでいます。どうしたら戦争をなくすことが出来るのでしょうか。対話と外交で平和をつくる時は来るのでしょうか。平和賞被爆の国に咲いた花 (11月)

秋田県秋田市 猪股 英夫82

〈評〉日本被団協へのノーベル平和賞受賞が世界的な話題になりました。作品は当を

て、読む人の心にひびいてくる。作者はこの年も餅をつけずに年を越したであろうか、と思ったりする。年金の増額ありて喜ばし欲にはあらず生きる糧なり (9月)

茨城県土浦市 岡司 信行89

〈評〉この作品の「欲にはあらず」の表現は、弁解的で気になるが、全体的な言葉の流れは、率直で、素直な生活詠となっている。自然体で身がまえて歌っていない点がよい。

※作品の下の()は掲載月、年齢も掲載時のものです。

〈評〉大樺の芽吹きは壮大である。見上げている大地に深く根を張る樹木のいのちをとらえている。その逞しさに勇気づけられての感動であろう。「春を噴き上げり」と感性の捉えた表現の力強さである。



東京・葛飾区 土井 翠子



愛知・名古屋市長 佐藤 五子

得たもので心から拍手を送ります。そして代表委員の田中さんの挨拶がすばらしい。「核兵器は人類と共存できない、共存させてはならない」胸が熱くなりました。

選者紹介

碓田のぼるさん

民主的な短歌運動の新风をきりひろいた第10回多喜二・百合子賞受賞の歌人。

丸山美沙夫さん

新俳句人連盟副会長。諸新聞・雑誌選者、俳句交流誌『しなの』代表など。

川端 一步さん

日川協加盟・川柳塔社参与、あかつき川柳会顧問。

文芸作品を募集します

- ◎作品はハガキに記入 (FAX・メールも可。ただし、はがき体裁で)、個人の応募に限定。作品数は特に制限はありません。
- ◎作品に、住所、氏名、年齢を添え、年金者組合中央本部「年金者しんぶん」文芸欄、短歌・俳句・川柳の各係宛へ。
- ◎毎号20日の締め切りですが、間に合わない場合は次号に繰り越されます。